

住専勘定の二次損失の処理スキーム

二次損失 14,017億円（確定）
（民間・政府各々7,009億円）

二次損失額 14,017億円	(民間負担) 2分の1 7,009億円	金融 安定化 拠出 基金	運用益 1,456億円
			元 本 4,233億円
			RCC累積利益 × 1/2 1,388億円
	(政府負担) 2分の1 7,009億円		RCC簿価超回収 2,189億円
			新金融安定化基金運用益 1,662億円
			RCC協定後勘定の留保利益 からの繰入れ 1,838億円
			RCC累積利益 × 1/2 1,388億円

(備考) 1. 二次損失の補填に充当可能な資金は、民間・政府分ともに合計7,077億円となり、二次損失額の二分之一(7,009億円)をそれぞれ68億円上回っているが、当該余剰金については、民間分は金融安定化拠出基金の元本に返還し、政府分は国庫に納付する予定である。

2. 元本4,233億円を二次損失に充当した金融安定化拠出基金に対し、預金保険機構の一般勘定より3,165億円の繰入を行っている。

3. 譲受時買取価格累計額46,558億円に対し、譲受時から協定後勘定に移管し、住専勘定としての回収を終了した平成23年11月末までの回収累計額は34,058億円となった(回収率 73.2%)。

4. 記載金額については、決算上の計数を含め、億円未満の単位を四捨五入して表示している。